



新型コロナウイルス感染拡大防止対策の強化が急務の中、5月6日に、川反・大町地区で市長自らPCR検査キットなどを配布しました

市長コラム

日々ネオ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

いのちの物語

桜の花が明るく春を演出していたと思っていたら、いつのまにか色とりどりのツツジが鮮やかに咲き誇り、この号がみなさんのお手元に届く頃は紫陽花や花菖蒲が夏の準備をしている頃でしょう。強くなつていく日差しの下で日ごと濃さを増すこの季節の緑には、みずみずしい命の息吹や生命力の力強さを感じます。

一方、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やオンライン授業、テレワークの毎日などで生活に息苦しさを抱えるかたも多いかと思えます。昨年、秋田大学が行った「外出自粛などが学生の心身に与えた影響に関するアンケート」によると、男女とも1割以上の学生に中等度のうつ症状がみられたといひ、調査結果に関する会見の席で、秋大大学院の野村恭子教授などは「心と体の健康を保つためには、悩みを誰かに相談したり、運動したりすることが効果的」と述べられたとの報道を思い返しました。

人は人との関わりの中で生き、生かされています。その中で勇気をもらい立ち直ることもあります。生きがいもその中で見出し、自分は誰かのため、何かのために必要だということを感じることもできたのです。気心を通わせる友だちと会うことで自己の存在を確認し、地域や社会、家族との交流の中で自分を見つめることができていたのに、それがコロナ禍で断され孤立しそうになっている。学生への調査は、こうした実態を浮き彫りにしたのではないでしょうか。

こんな思いの中で、先日、「いのちの停車場」という映画を鑑賞する機会がありました。吉永小百合さんが現役医師の役で出演し、まさに医師、死と向き合う患者、家族が紡ぐ「いのちの物語」です。これからご覧になるかたのことを考え多くは申し上げられませんが、心の奥底に残る一つのシーンだけ紹介します。

小児がんの少女が、自分の生まれてきた境遇を誰のせいにするでもなく両親に謝る場面。子どもながらに、親を悲しませたくないという気遣う痛いほどのやさしさや心の強さを感じ、少女と両親双方の心情を思うとしばらくは息をするのが苦しいほどでした。ほかにも在宅医療のあり方や末期患者の最期の迎え方、つまりは「命のしまい方」、そして人は人の中で如何に生きるかということが描かれています。そのどれもが重いテーマですが、大仙市出身の柳葉敏郎さんをはじめとする出演者の名演もあり、内容的な重苦しさを感じるよりも、ヒューマンドラマとしての奥深さが勝り、エンディングを迎えるまで集中してみる事ができました。

不安が募るこんな時代だからこそ問われる人と人のつながり。見えない絆が何より心の支えとなることを、この映画で改めて考えさせられました。

学んで遊べる地域の拠点 広面児童館が新しく！

以前の建物の老朽化に伴い工事
だった広面児童館が、広面小学校の
東隣に新しく完成しました。

5月14日には、関係者と広面小の
児童6人が出席し開館式を開催。代表
して6年の薄井楓くんが、「予想以上
にきれいで広くてびっくりです。ここ
で、放課後の生活を送ることができ
と思うとうれしい」と期待を込めてあ
いさつをしてくれました。

館内には、遊戯室、図書室、集会
室があり、子どもたちの学び、遊ぶ
環境が充実しています。これからも
みんなで大事に使ってね！

●問い合わせ
子ども育成課 ☎(888)5694



開館式に出席したみなさん



左は建物外観。右は児童代表あいさつをした薄井くん

秋田の魅力を笑顔でPR！ あきた観光レディーが決定

「令和3年度あきた観光レディー」
の発表会が5月18日、にぎわい交流
館で行われ、新しく選ばれた3人写
真の右3人に委嘱状が交付されまし
た。昨年度は新型コロナウイルスの
影響で選考を見送ったため、一昨年
から任期を継続する2人を加えた5
人で活動していきます。

さわやかな笑顔が印象的♪市内外
のイベントなどで秋田の魅力をPR
していきますので、みなさんよろし
くお願いします！

●問い合わせ 秋田観光コンベン
ション協会 ☎(824)1211



菅原穂乃香さん

久留島涼香さん

阿部彩さん

田村友明子さん

榎澤好心さん

新型コロナウイルス の感染対策に寄付を いただきました

公益社団法人秋田北法人会
から、新型コロナウイルスの
感染対策に役立ててもらいた
いと30万円を寄付していただ
きました。ありがとうございます。

●問い合わせ 保健総務課
☎(883)1170



穂積市長の右隣りが、林明夫会
長、左隣りが加賀谷毅副会長、左
端が伊藤保健所長